

## 第2回ゼロ・ウェイスト円卓会議議事録

出席者／宮北・山下・高岡・藤本・嘉松・桑畑・小里・道上  
事務局／田畑・岩下・坂本・池崎  
オブザーバー／西・土田

### 2市のごみ処理の内訳について

- 資料1の「最終処分減量に要する費用」とは何のことか？  
→ごみとして出された物が中間処理（燃やされた物が灰になって消える）された後で最終処分にかかった経費のこと（埋立）。つまり、＜参考：最終処分減量に要する費用について＞図内の総経費から二重枠の部分を引きいたもの。
- ここにいるメンバーがかろうじて分かるくらいだから、一般市民には分かりにくい。市は分かりやすい言葉で説明すべき。
- そうなると、分別をしないで、埋め立ての方が安く済むということにならないだろうか？  
→数字だけ見ると「高い・安い」でしか見られなくなるが、お金の問題ではない。
- 中間処理費の中に収集費用は含まれるのか？  
→含む
- 偏差値とは何か？  
→比較の為に類似自治体のデータを集めて平均値を出したもの。平均50。
- 燃やすごみにかかる経費は？  
→事業系の資源ごみは10キロあたり30円（他自治体50～120円）、粗大ごみは850円
- 市民ががんばって分別している成果がこの数字には現れてこない。それが見える形で集計をすべき。
- もう少し分別していることが数字に出てくるとよいのだが。
- これらの数字には色々含まれているのだから、私たちも見方を勉強した方がよい
- 何故芦北町は最終処分減量に要する費用が安いのか？  
→人口別自治体による違い。水俣市と比較しても意味がない。
- 偏差値が低いということはリサイクルをがんばっているということ
- 数字だけみても説明を聞かないとわかりにくい。資料の作り方を検討。

●発表補足

岩下班／市に、特に市長に当事者意識を持ってほしい

久木田班／行政と市民の意思の疎通がうまくできていない。両者の思いを伝えるNPOのような存在が必要

●まとめ

- 前回のステーション調査の次の段階として推進委員さんに話をきくのはどうだろう。もう少し踏み込んだ形で。
- このワークショップ形式は良い。またやりたい。メンバー間の距離が縮まる。
- 合同会議の資料を水曜までに作成する。意見・修正は金曜日までに。
- 推進委員会と推進本部会議は定期的に行っているのか？  
→推進委員会は今週末の合同会議前に行う。推進本部はこれまでに1回のみ。
- 合同会議の報告を年内に送付。フェスタ案を年明けの宿題にして次回は1月16日（月）19時開催。